

# サウンディング調査手法について

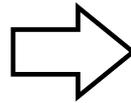
## 1. 今までの町有財産の活用方法

例)



【進め方】 事業検討～事業者公募実施までの全てを自治体内部で検討

【結果】 アイデア不足  
市場と乖離した公募条件の設定



事業者の  
手が挙がりにくい

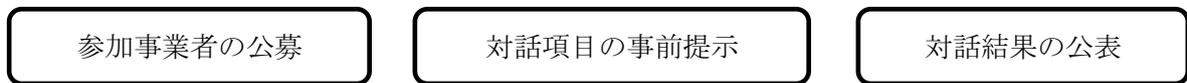
## 2. サウンディング調査の目的

- 市場性の把握
- 活用アイデアの収集
- 参入しやすい公募条件の設定



事業者に  
直接話を聞きたい

【注意点】 公平性・透明性を確保した上での対話実施



## 3. サウンディング調査の流れ

例)



【実施目的】

- 事業検討に向けて、市場性の有無や資産の活用アイデアを把握する。
- 地域課題や配慮事項を事前に伝え、より優れた事業提案を促す。
- 事業者の参加意向を把握し、事業者がより参加しやすい公募条件を設定する。

【実施段階】

- 活用検討の早い段階【対話】

※サウンディング調査にご参加いただいても、事業者公募実施時に加点される等の利点はありません。

※サウンディング調査に不参加でも事業者公募に参加することは可能です。